



- 農作業の人手不足を解消するため、平成30年度から、「マッチング事業」を開始。作業内容をメニュー化して作業料を明確にすることで、農家と障害福祉サービス事業所の双方が取り組みやすい仕組みを構築。

基本情報

- 所在地：長野県松本市
- 活動地域：都市的地域
- 団体名：松本ハイランド農業協同組合
- 主力商品：加工用トマトの収穫作業など
農家と福祉事業所をマッチング



トマトジュースやケチャップの材料となる
加工用トマト

取組の概要

- 農家が、依頼したい作業内容をＪＡに申し込み、その情報を障害福祉サービス事業所（主に就労継続支援Ｂ型事業所）に提供、請負を申し出た事業所の中から、ＪＡ職員がマッチングし、農家と事業所が直接、請負を締結。
- 農家と事業所の双方が利用しやすいよう、委託作業をあらかじめ作業内容・作業量に応じてメニュー化し単価を設定、作業料を明確化。
- 作業メニューの単価等については、毎年、事業所や県の担当者などの関係者を集めた会議を開催し、内容を改訂。
- ＪＡの農産物直売所において「農福マルシェ」を開催し、農家だけではなく地域住民や観光客へ農福連携をＰＲ。



加工用トマトの収穫作業

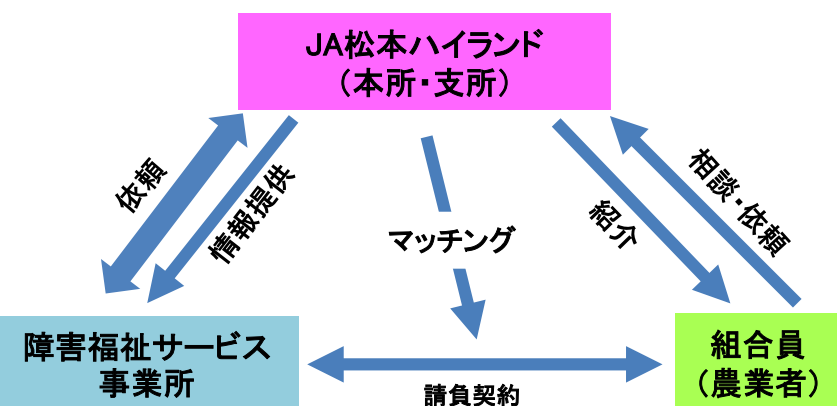


トマト収穫作業の福祉事業所向け事前説明会



農福マルシェ

体制図



取組の成果

- 農家の長時間労働の解消や、スポット的な作業についても労働力の確保が容易になり、生産面積の維持・拡大、荒廃農地の発生防止に貢献。
- 農福連携による請負作業の増加で、障害福祉サービス事業所の工賃が向上。
- 農家と障害者、地域住民等との交流により地域の支え合い意識が成熟。

所在地 ▶ 長野県松本市南松本1-2-16

連絡先 ▶ TEL : 0263-29-0394 FAX : 0263-27-4880

E-mail : nokikaku@mhl.nn-ja.or.jp

ウェブサイト ▶ <https://www.ja-m.iijan.or.jp/>

【取組のプロセス】

高齢化や人口減少
農業などの影響で
労働力不足、耕作
放棄地が拡大

～2017年

きっかけ

組合員（農家）が、アルバイトが集まらず人手不足に悩んでいた。

2017年～

農協青年部による農福連携モデル事業がスタート

- 平成29年7月、農業の労働力不足を解消し、産地の維持・耕作面積の拡大・農業の活性化につなげるため、農協青年部の取組として、地域住民と連携した多角的な労働力の確保のためのモデル事業を開始。
- 18農家と8事業所を結びつけ、のべ323人の障害者が農作業に従事。



2018年～

J A 松本ハイランドの事業として、支所に窓口を設置

- 平成30年2月、組合員を対象とした説明会を開催し事業をスタート。各支所に農福連携の窓口を設置して、本格的な事業として農家からの相談を受け付け。長野県セルフセンター協議会と連携しながらマッチングを開始。
- マッチング数は、30農家、8事業所で、のべ1,041人。



長野県の農業就労
チャレンジ事業を
受託。

2019年～

長野県の事業を受託し、農福連携の推進に貢献

- 平成31年4月、長野県の「農業就労チャレンジ事業」受託し、長野県全体への農福連携推進に貢献。
- マッチング数は、32農家、11事業所で、のべ1,161人と増加。



「農業就労チャレンジ事業」
農業サポーターによる作業支援

今後の
展望

J A への就労拡大

- J A が管理運営する果実共選施設の改修に合わせて、障害者が作業を行う専用レーンを新設し、障害者の就労機会の増加を図る。

